

令和3年1月大雪時における市民の困りごとへの対応

令和3年1月15日
大野市社会福祉協議会

1 ボランティアセンターでのボランティア需給調整

災害ボランティアセンターを立ち上げる予定はなく、現ボランティアセンターの活動として対応していく。

- ・ 雪かきなどのボランティアニーズとボランティア活動とのマッチング
 - ※ 雪による日常生活での困りごとをボランティアとして支援活動
- ・ 雪かきボランティアの募集
 - ※ 平常時からの幅広い福祉ボランティアを募る中で、雪かきボランティアを登録
- ・ 企業や団体でのボランティア活動とニーズとの調整

2 市民の日常生活での困りごとの発見とその対応

社協のネットワークを活用して、困りごとを発見し、その対応について関係機関へ連絡調整を図っていく。

- ① 既存の制度を活用した見守りなどによる支援
 - ・ 介護保険利用者へのケアマネ、ヘルパー等の訪問
 - ・ 障害福祉サービス利用者への相談支援専門員等の訪問
 - ・ ひとり暮らし高齢者、高齢の二人暮らし高齢者世帯への配食サービス
 - ・ 独居、虚弱等高齢者宅へのヘルパー巡回訪問
 - ・ 日常生活自立支援事業、法人後見事業による生活支援員の訪問 ほか
- ② 社協が持つセーフティネットの活用
 - ・ 民生児童委員、福祉委員による地域での見守りによる困りごとの発見と関係機関へのつなぎ
 - ・ 地区社協、地区福祉員会での見守り活動
 - ・ 地域ふれあいサロンを通じたネットワークの活用
 - ・ 地域ぐるみ雪下ろし支援事業との連携
 - ・ 社協窓口や電話による相談への対応 ほか